

◆コンディショナー 配合成分詳細

●セテアリルアルコール

パーム油を還元して得られる炭素数 18 の一価アルコールである高級アルコール（脂肪族アルコール）です。

一価アルコールとは、化学的に-OH（水酸基：ヒドロキシ基）が一つ結合したアルコールで、2つ以上結合したものは多価アルコールと呼ばれ（ n 個結合したものは n 価アルコールとも呼ばれる）、高い吸湿性と保水性を有しているため化粧品に汎用されている保湿剤です。

●PG

酸化プロピレンに酸触媒下で水を付加し、精密蒸留して得られる多価アルコール（二価アルコール：グリコール）で、グリセリンに似た特性を示しますが、グリセリンよりも粘度が低くさっぱりした感触で使用感に優れた保湿剤です。

●ステアラミドプロピルジメチルアミン

化学構造的に炭素数 18 の高級脂肪酸あるステアリン酸とジアミンを縮合したアミド基をもつ第三級アミドアミンであり、アミン塩型の脂肪酸アミドアミン塩に分類される分子量 368.6 の陽イオン界面活性剤（カチオン界面活性剤）です

ステアラミドプロピルジメチルアミンは、酸で中和することで水溶性になり、優れた毛髪コンディショニング効果を発揮することから、炭素数 16-22 の高級アルコールと併用してヘアコンディショナー、ヘアトリートメントなどに使用されています。

高級アルコールとして主にセタノール、セテアリルアルコール、ステアリルアルコールまたはベヘニルアルコールのいずれかまたは複数が併用されます。

●ラウリン酸メチルヘプチル

主にヤシ油またはパーム核油から得られる、化学構造的に炭素数：二重結合数が C12 : 0 で構成された分子量 200.32 の高級脂肪酸（飽和脂肪酸）で起泡、洗浄剤です。

●乳酸

乳酸菌は雑菌の繁殖を抑える

乳酸菌は頭皮を弱酸性に保ちますので、常在菌を元気にして雑菌が繁殖しにくい状態になります。「昨日シャンプーしたばかりなのに頭皮が痒い！」という場合の多くは、雑菌の繁殖による痒みなのです。乳酸菌シャンプーをすると、明らかに頭皮の痒みが減少してきます。

毛穴の汚れを取り去る

毛穴には水道水のカルシウム分と皮脂から分泌される脂肪酸が結合した「脂肪酸カルシウム」と呼ばれる汚れがつまっています。乳酸菌には脂肪酸カルシウムを分解する力があるので、普段のシャンプーでは落とし切れなかった毛穴の汚れを取り去ります。

乳酸菌シャンプーを使うと髪がサラフワになる

乳酸菌で雑菌の繁殖が抑えられることで、頭皮のフケやかさつきや痒みが少なくなります。
毛穴の汚れが綺麗になることで、栄養が十分に行き届き、結果として髪のハリやコシも出てきます。

●フェノキシエタノール

シャンプーの詳細参照

●ポリクオタニウム-10

化学構造的にヒドロキシエチルセルロースに第四級アンモニウム塩型に分類される陽イオン界面活性剤の一種であるグリシジルトリメチルアンモニウムクロリドを付加して得られる重合体であり、水溶性のカチオン化セルロース（カチオン性高分子）です。

●グリセリン

シャンプー詳細参照